

厳しい環境にある児童を切れ目なく見守り・支える取組 ～持続可能な仕組の構築～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
いの町立 伊野小学校	伊野小学校学校運営協議会 令和2年5月21日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 2名 1名	伊野小学校地域学校協働本部



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

本校は、現校長が着任した当初は、学力・体力面のばらつきが大きく、保護者との連携や教員の働き方等の課題もあった。支援を要する児童の割合が高く(今年度の個別の支援計画作成児童:全児童の約25%)、また、厳しい環境にある児童も少なくないため、保護者への介入等が必要なケースも毎年発生している。古くから和紙作りで盛え、伝統を守り続けるポテンシャルの高い地域であり、以前から地域と学校の交流は活発であったが、その力を学校の課題解決には生かしきれていなかった。

目標や目指す姿(学校)

児童の学習、人権、安全を保障し、寄り添い、一人一人の良さや可能性を引き出す。

目標や目指す姿(地域)

安心と信頼のある教育環境を整備する。



伊野小学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|---|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員 | <input type="checkbox"/> 地域コーディネーター |
| <input type="checkbox"/> 教育支援センター室長 | <input type="checkbox"/> 管理職(校長・教頭) |
| <input type="checkbox"/> 保育園園長 | <input type="checkbox"/> 担当教職員 |
| <input type="checkbox"/> 放課後子ども教室講師(保護者) など、計 | 11名で構成 |
| <input type="checkbox"/> PTA会長 | 年間平均 4回程度開催 |

効果的な運営の工夫

- ◆校長と運営協議会の会長が、会の開催時以外にも連絡を密に取り、情報共有することで、スムーズに事案に対応・解決することにつながっている。
- ◆熟議のテーマは、「保護者の関心」「家庭との連携が必要」「安全にかかわる切実な内容」等の視点で、委員の意見も参考に決定し、実施に当たっては、少人数のワークショップ形式で、意見が出しやすくなるようにしている。職員にも熟議内容を周知し、教育活動にも活かしている。
- ◆通信で会や活動の様子を、保護者・地域に情報発信している。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

R.2第2回の熟議で、挨拶ができない児童の背景に、児童の置かれている環境の厳しさが関係していることが話題となり、R.3第2回の熟議では、「家庭環境の厳しさと体格・朝食と生活の関係」が話題になった。民生委員による厳しい環境にある児童への見守り等について、R.4第1回運営協議会で情報共有を図った。



報告:民生委員懇談会

地域学校協働活動

厳しい環境にある児童を支える学びを支えるいのっ子教室
 ・無料で宿題等ができる場
 就学時健診で地域とつなぐ
 ・就学時健診で新入児の保護者と民生委員の交流を実施
 切れ目のない見守りの仕組
 ・民生委員と見守りが必要な児童の情報を共有



就学時健診で民生委員と交流

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

児童を見守り、支える役割をそれぞれの立場で果たせるような工夫をした。①「支える人と支えが必要な人とがつながる」場を設け、継続する。(ルーティン化) ②取組や協議内容を伝え、情報共有すること。(シェア)【プレゼン・通信等による発信】 ③持続可能性を高める成果物を作成すること。(可視化)【見守り体制図】 ④校内で誰が担当してもできる仕組(校務決裁システム:現担当が次年度分の行事計画を作成し、スムーズに運営する仕組)を生かし運営していくこと。

取組

成果・効果

【学校の教員や子どもたち、参画する住民の声】

- ・これが「地域の見守り」ですね。見守ってもらっていることを実感しました。(子どもの居場所を教えてもらった保護者)
- ・毎日、いのっ子教室があったらいいのに。家に帰っても誰もおらんけど、ここで宿題を教えてもらえる。(2年児童)
- ・民生委員から柵のないビルの屋上に児童がいた情報提供を受け、指導ができてよかった。(教員)

【指標】

R.3年度:いのっ子教室の登録人数 全校児童の約37%(全校児童264名中98名) 低学年児童の約57%(127名中72名)
 いのっ子教室参加平均人数 R.元.4月(6日間実施)【1日平均12.5名】 R.3.4月(5日間実施)【1日平均29.2名】

- ◆民生委員からの「虐待かもしれない」という警察への通報を受け、「学校と地域による見守り体制図」の流れに沿って対応が進み、保護者への介入、その後の見守りが今年度も継続され、教育委員会と学校が連携しながら見守りを行っているケースもある。
- ◆保護者と学校が話し合いをする場合にも、運営協議会のメンバーが話し合いに参画することで、保護者・学校の双方にとって心強い存在となり、話し合いがスムーズに進んだ。→保護者とのトラブルが減り、時間的にも、心理的にも負担の軽減になっている。
- ◆民生委員と学校による重層的な見守りの仕組づくりは、地域ぐるみで児童を見守る一体感を醸成することにつながる。